

「おいしさと健康」への取り組み

健康志向のたまねぎ品種「北さらら」を開発・販売

株式会社ゼンショーホールディングス（代表取締役会長兼社長：小川賢太郎 本社：東京都港区）は、株式会社植物育種研究所（代表取締役：岡本大作 本社：北海道夕張郡栗山町）と新たに共同開発した健康志向のたまねぎ品種「北さらら」を、11月27日（水）よりゼンショーグループのスーパーマーケット「マルヤ」などで販売します。

「食材からおいしく健康に。」ゼンショーホールディングスはおいしさと機能性を高めた食材の研究開発を行い、食を通じて人々の健康を支えることを目指しています。

今回開発に成功した「北さらら」は、一般のたまねぎと比較して健康機能性成分であるケルセチンを2倍以上含んでいます※。ケルセチンはポリフェノール的一种で、抗酸化活性や脂肪分解の補助など、様々な健康効果が期待されています。

ゼンショーホールディングスは今後もお客様により健康にお過ごしいただくため、新たな価値の提供を進めてまいります。



イメージキャラクター
さららん

- 品種名 : 北さらら
- ケルセチン含有量 : 54mg/100g
- 生産地 : 北海道
- 販売場所 : スーパーマーケット「マルヤ」など10店舗
- 販売日 : 11月27日～（売り切れ次第終了）



イメージ画像

【ケルセチンとは】

ケルセチンは野菜や果物に広く存在するポリフェノールであり、たまねぎの黄色色素です。抗酸化活性や脂肪分解の補助など、様々な研究結果が報告されています。

詳しくはこちら>> <https://www.zensho.co.jp/jp/businessmodel/science/kitsasarara/>

【株式会社植物育種研究所】

北海道夕張郡栗山町に本社を構える、農産物の品種改良や種苗生産、青果販売、輸出入に取り組む種苗会社。品種改良が難しいといわれるたまねぎに特化し、「ケルセチン」を多く含む製品や、辛み成分がなく涙の出ない機能性の高いたまねぎを開発し、インターネット等で販売を行っている。



株式会社植物育種研究所
岡本大作代表取締役

※United States Department of Agriculture Database for the Flavonoid Content of Selected Foods より